

道しるべの会

2月の道しるべの会

日時：2月13日（月）10時～

場所：スズキ・メソッド東海オフィス

講師：長谷部 直子 先生

（東名古屋支部ヴァイオリン科指導者）

テーマ：どの子も育つ！どの親も育つ！

ヒントがいっぱい

～映像で見る家庭でのおけいこ～

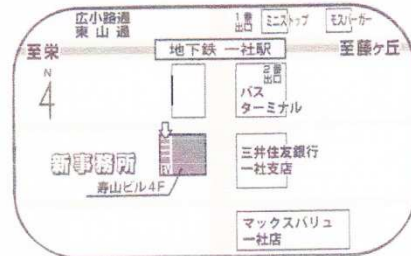
家庭でのおけいこを記録した映像を見ながら、それぞれのご家庭のおけいこでの親の関わり方について考えて見ましょう。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

*参加者のみなさんでのフリートークもあります。

日頃から感じているさまざまなことを

みなさんと気軽に話してみましょう。



才能教育研究会 スズキ・メソッド
東海地区三科連絡協議会
スズキ・メソッド東海オフィス
〒465-0093 名古屋市名東区一社 1-89
寿山ビル4階
TEL&FAX：052-753-9878
開所時間：平日 10時～13時
e-mail：suzukimethod_tohkai@yahoo.co.jp
地下鉄東山線 一社駅下車
南改札口より南へ徒歩3分

2017.2

2月13日に一社オフィスで行われた「道しるべの会」のご報告です。

講師として東名古屋支部の長谷部先生をお招きし、初歩のお母様方への家庭でのおけいこの進め方について映像を見ながらお話していただきました。当日は20名ほど（スタッフ合わせて）の方がお見えになり、みな熱心に映像とお話に耳を傾けていました。

家庭でのおけいこの進め方で重要な点は、まず生活の中にヴァイオリンが当然のこととしてあること（毎日のおけいこ・環境）、ヴァイオリンのおけいこが楽しく行われていること（意欲づくり）、それらをどのように工夫しておけいこをするかということをお話していただきました。

最初に見た映像では長谷部クラスで育った5人組の生徒たちの姿でした。2歳半の遊びから一緒に始めたヴァイオリン、すべてのスズキの行事に参加し、4歳でゴセックのガヴォット、10歳でモーツァルトの協奏曲を夏期学校で弾き、ヴァイオリンのお稽古で一つを立派にする能力が育ち、みなで育ちあった結果それぞれが希望する進路へと進めた一つの例でした。

次の映像では、家庭でのおけいこの様子で、お母様がキラキラ星のタカタカタッタを最後までよい姿勢で通して弾けるまで、子供の好きな人形を使って根気よく「もう一度だよ、もう一度だよ」とレッスンしている姿でした。その根気と毎日の積み重ねがキラキラ星を弾き切る能力を作り、次の曲が弾けるようになります。そして曲が進み、新しい曲をお稽古しているときに、部分練習として回数をお稽古するときも、足元に積み木を積み上げて、「これが10個になるまで頑張るよ」と意欲を作り、積み木が足元にあるので姿勢を崩すと触れて倒れてしまうので姿勢に気を付けながらレッスンしていました。このお母様はこのようなおけいこのアイディアを考えることが楽しかったとおっしゃっていました。お母様なりに楽しいアイディアを考えて、それを楽しみながら親子でおけいこをしている姿に親の愛情を感じました。

また、兄弟がいる家庭ではお姉さんが妹と一緒に復習曲をおけいこできるので、ちょっとした合奏をすることができます。下の子は上の子が弾いている曲を（早ければ）お母様のおなかにいるときから聞いているので曲を覚えるのが速く、ヴァイオリンの音が出せるようになってとすぐ弾けるようになってしまいます。そしてどの家庭でもすぐにお稽古CD（昔はカセットテープ）の音が聞けるようプレーヤーをそばに置き、使いながらレッスンしています。家庭ではCDの先生がお手本先生ですね。

お稽古は人と人とのやり取りです。時には厳しくお稽古をしてしまうこともあるでしょう。そんなときは終わった後にギュッと抱きしめて「よく頑張ったね！」と褒めてあげることです。初歩の時のお稽古はその時期にしか味わうことができません。自分でお稽古ができるようになってくるとこのようなかかわりから少しずつ離れていきます。この時期を大切に、お母さんとお子さんと一緒に成長してほしいですねと、長谷部先生の愛情を感じました。



♪フリートークにて 「毎日のお稽古について、アイデア、意見などなど」

- 楽器が下がっておけいこをしている。
 - 好きなシールを壁の見える位置に張りおけいこ。楽器が上がって弾けるようになった。
- 自身の演奏の良いか悪いかを自分で判断させる。（良い演奏が何かをわかっているうえで）
- 「ダメ」というのは簡単、「良いね」と言えることはすごいこと。
- 回数のお稽古の際、意欲づくりのためにシールを貼ったり表を作ったり。
- 2時間おけいこをするには、朝昼夕夜それぞれ30分ずつ（一年生）。
 - 思い立ったもののなかなか大変で挫折ぎみ…。
- （見学の方）何歳からはじめればよいか。また、親は何も弾けないけれど、家でちゃんとおけいこさせることができるのか。
 - 音楽のある環境を作る。いつも教本の曲が流れている。口ずさめるようになってきたらそろそろスタート。
 - 素直に指導者の言うことを守ってお稽古すればできるようになる。また、合奏などにも参加してほかの生徒や親を見学すること。著書「愛に生きる」を読んでみる。
- 目の前に人形やぬいぐるみをおいて演奏。お稽古テープ、CDを何度も聴く。
- 兄弟の下の子のおけいこスタートの時期について、無理にやらせようとせず自発的にやりたくなるよう仕向ける。声掛け「～できるかな？」など。上の子が楽しくおけいこしていると自然とやりたくなることが多い。
- 鈴木鎮一「愛深ければ為すこと多し」 高田好胤「愛は辛抱である」
 - 親の一生懸命な心を子は受け取る。

♪参加した皆様からアンケート・ひとこと

- おけいこを楽しくするためのヒント、アイデアをまたいただきました。八代さんのお稽古録画、お母様の忍耐に驚きました。
- 見学させていただいています。スズキ・メソードについて理解を深めることができました。心配していた子供の開始年齢や私にヴァイオリンのスキルが無い事も問題ではないとわかったので安心できました。自分だけでなく皆さんも子育てについて色々ご苦労もあるのだなとわかりました。今日はありがとうございました。
- 子供と一緒に育っていくことで子供の可能性を引き出すきっかけを作れたらと思い入会しました。お稽古を始めてまだ半年ですがいろいろなことを忘れかけていました。今日はたくさんのことを教えていただき早く娘と楽しくお稽古をやりたくなりました。ありがとうございました。
- 素直な親は子供も育つ。いつも、子育てをしながらつい忘れがちな親の心構えを点検できる道しるべの会です。今日も、大切な機会をありがとうございました。焦らずじっくりと子供とむきあいたいと思います。
- 道しるべ等、諸先生方、先輩お母様方のお話を伺う機会は日々のお稽古の反省、次のお稽古へのモチベーションアップにつながり大変貴重です。子供の日々のお稽古が時間より回数必要なのと同じように、スズキメソード初心者母として今後もこのような勉強会お話し合いに可能な限り参加し、子供とともに成長していきたいとの思いを強くしました。有難うございます。
- 本日は貴重なお時間、ありがとうございました。まだ見学のみで始まっていないので、右も左もわからずですが、先輩のお母様方のお話や、レッスンの様子など見る機会があり、大変勉強になりました。また、お子様が大きくなられたお母様方のお言葉に皆様「楽しかった」と言っていたのがとても印象的でした。私も楽しんで続けていけると良いと思いました。
- 私自身3歳～小5まで長谷部クラスでヴァイオリンを習っていました。今日は久しぶりに長谷部先生にお会いできてとても充実した時間を過ごせました。家でのお稽古の仕方、子供との接し方など、勉強になることをたくさん聞いて良かったです。今日はありがとうございました。
- 子供の成長や変化が激しくて戸惑う中、また主張の激しい子供の正確に合ったお稽古ができていたか不安でしたが、もう少し力を抜いて楽しめればいいと、みなさんのお話を聞いて安心することができました。ありがとうございました。

♪次回もたくさんの方のお越しをお待ちしております♪

<道しるべの会 スタッフ>

伊藤 達哉（指導者）、

深谷 正徳（東名古屋支部）、浅田 美幸（西名古屋支部）、

後藤 寿子（東濃支部）、阿部 佐衣（豊田支部）、伊藤 登美子（西名古屋支部）

今後の予定

5月2日（火）10時より 中村区フィオリーレにて

7月17日（月・祝）10時より 東海オフィスにて

内容は未定です。